

令和3年度 長岡崇徳大学 看護学部看護学科 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

科目名	科目番号	担当	単位数		時間数	学年配当	授業形態	内容
			必修	選択				
キャリアデザインⅡ	1104020	田邊 要補		1	15	2	講義	【多様な専門職の講師をゲストに招き、看護師実務経験を有する担当教員が教授する科目】 看護職として自律的に自分のキャリアを選択し自分の働き甲斐、生き甲斐を自ら見つけていけるようなキャリア形成支援を目的とする。様々な看護の仕事の場やそれぞれの特徴を理解する。それぞれの場で活躍している看護職を講師として、シリーズで講義を行う。具体的には、臨床の場、在宅の場、地域の場、福祉の場、行政の場、教育の場、その他出版社などの場で活躍する看護職から、それぞれの仕事の特徴、やり甲斐などの具体的なことの講義を受ける。さらに、講義を通して、職業人として必要なマナーに関する基礎的な知識も習得する。
人体の構造と機能Ⅰ	2208010	浅見 直	2		30	1	講義	【医師の実務経験をもつ教員が教授する科目】 看護の構成要素である人間の構造と機能の基礎を学ぶために、人体の構造と機能について学ぶ。生命維持のために分子・組織・器官・個体のそれぞれのレベルにおいてどのようなことが営まれているかを学ぶ。具体的には、組織構造の基本、ゲノム、遺伝子と細胞と組織、血液、造血管機能について学ぶ。続いて、看護の基礎となる人体の構造とその体系を学ぶ。具体的には、骨格系、筋系、神経系、の構造と機能について学ぶ。
疾病治療論Ⅱ (呼吸器・消化器)	2209030	佐藤 和弘 富所 隆	1		15	2	講義	【オムニバス形式で医療機関の医師が教授する科目】 呼吸器疾患、消化器疾患の成り立ちと症状、検査、診断、治療について学び、看護実践に結びつけるための基礎とする。 (佐藤和弘/4回)呼吸不全、呼吸器感染症、肺循環器障害、気胸、腫瘍などについて学び、看護実践に結びつけるための基礎知識とする。治療法については、手術療法の例を含む。 (富所隆/4回)消化器疾患の病因から治療までを学び、看護実践に結びつけるための基礎知識とする。治療については、手術療法を含む。
疾病治療論Ⅲ (内分泌・腎・代謝・婦人科)	2209040	福居 和人 中枝 武司 須藤 寛人	1		15	2	講義	【オムニバス形式で医療機関の医師が教授する科目】 代謝、内分泌疾患、腎疾患、および産婦人科疾患の成り立ちと症状、検査、診断、治療について学び、看護実践に結びつけるための基礎とする。 (福居和人/4回)間脳・下垂体疾患、甲状腺疾患、副甲状腺疾患、メタボリック・シンドローム、糖尿病などである。 (中枝武司/2回)主な腎疾患と腎機能障害に対する透析療法、腎移植などの治療法を学ぶ。 (須藤寛人/2回)生殖器・婦人科疾患および泌尿器疾患の成り立ちと症状、検査、診断、治療について学び、看護実践に結びつけるための基礎知識とする。具体的には、子宮がんを含む女性生殖器疾患、不妊症、性感染症、性分化疾患などである。また、周産期疾患を含め女性特有の疾患について学ぶ。

科目名	科目番号	担当	単位数		時間数	学年配当	授業形態	内容
			必修	選択				
疾病治療論Ⅳ (造血器・運動器)	2209050	伊藤 正一 星野 正	1		15	2	講義	<p>【オムニバス形式で医療機関の医師が教授する科目】</p> <p>運動器疾患、神経疾患、造血器疾患の成り立ちと症状、検査、診断、治療について学び、看護実践に結びつけるための基礎とする。</p> <p>(伊藤正一/4回) 白血病などの造血器疾患とその治療法としての化学療法や輸血療法、および放射線療法を学び、看護実践に結びつけるための基礎とする。</p> <p>(星野正/4回) 骨折などの筋・骨格器の障害、脊髄損傷などの神経障害による運動機能障害および放射線治療や麻酔療法について学び、看護実践の基礎知識とする。</p>
疾病治療論Ⅴ (脳神経・精神)	2209060	三木 健司 渡部 和成	1		15	2	講義	<p>【オムニバス形式で医療機関の医師が教授する科目】</p> <p>脳神経疾患、精神疾患の成り立ち、症状、検査、診断、治療について学び、看護実践に結びつけるための基礎とする。</p> <p>(三木健司/4回) 様々な原因による高次機能制御系障害について、検査、診断、治療法について学び、看護実践のための基礎知識を深める。手術療法の例を含めて学ぶ。</p> <p>(渡部和成/4回) 精神および行動障害疾患について学び、看護実践のための基礎知識とする。統合失調症などの疾患の他、ストレス関連障害、摂食障害、行動障害、依存症などを含む。</p>
保健医療福祉行政論	2210020	五十嵐 直子	2		30	1	講義	<p>【保健師の実務経験を持つ教員が教授する科目】</p> <p>保健医療福祉行政論は、公衆衛生看護を実践するための基礎となるとともに、地域で包括的に住民をケアするための基礎となる科目でもあり、保健師にとっても看護師にとっても必要な科目である。そこで、地域住民がより良い暮らしを営むことを支援する基盤となる保健医療福祉の歴史を理解することから始まり、制度と行政の仕組みを理解する。また、現在の日本の保健医療福祉行政の現状を知り、評価と課題を抽出し、対策を考える。</p>
基礎看護技術演習Ⅰ	2311030	倉島 幸子 大橋 洋子 大崎 美奈子	2		60	1	演習	<p>【看護師実務経験を持つ教員が教授する科目】</p> <p>看護技術の共通する考え方、コミュニケーション、安全安楽、自立への援助についてまず学習する。またボディーメカニクス、教育的関わり、運動、活動、休息、睡眠の援助とヘルスアセスメントについて学ぶ。演習を通して、看護技術の独自性について、人間の尊厳と関連して捉えられるように授業を進める。</p>
成人看護援助論Ⅲ	2312040	広井 貴子 目黒 優子	1		30	2	演習	<p>【看護師実務経験を持つ教員が教授する科目】</p> <p>成人看護援助に必要な技術について、科学的根拠を確認しながらより実践的に学ぶ。</p> <p>成人看護援助論Ⅰ、Ⅱで学習した看護技術や看護援助過程について実践的に学習する。成人看護学実習の事前学習として手術からの回復期の看護を含む周手術期の看護援助技術の習得、および慢性疾患をもつ対象者に対するセルフマネジメントにつながる健康支援について、より具体的で実践的に演習を行うことによって学ぶ。</p>

科目名	科目番号	担当	単位数		時間数	学年配当	授業形態	内容
			必修	選択				
老年看護援助論Ⅱ	2312100	袖山 悦子 角山 裕美子	1		30	3	演習	【看護師実務経験を持つ教員が教授する科目】 高齢者の健康問題発生のプロセスとその変化を理解するためのヘルスケア・アセスメント技法を習得する。事例を用いて、加齢に伴う諸機能の低下、様々な疾患や薬剤による影響、環境から起こる変化が日常生活に及ぼす影響を考え、老年者の看護に必要な移動、排泄、食事援助、介護予防や老化防止につながる健康教育、コミュニケーション技法について体験型の演習で学ぶ。
小児看護援助論Ⅱ	2312150	加固 正子 沼野 博子 伊藤 文子	1		30	3	演習	【看護師実務経験を持つ教員が教授する科目】 基礎看護学で学んだ技術を基盤として、乳幼児を想定した子どものフィジカルアセスメントや小児看護技術項目について小グループに分かれて演習室にて技術演習を行う。特に、検査・処置を受ける子どもに対する説明と不安軽減、個別性を考えながら適確な技術を提供するためのポイントについてDVDやデモンストレーションを参考に実践的に学ぶ。
母性看護援助論Ⅱ	2312190	柳原 眞知子 高島 葉子	1		30	3	演習	【看護師・助産師実務経験を持つ教員が教授する科目】 妊娠・出産・育児期の健康問題や家族支援にかかわる看護援助の方法論をもとに、母子の事例を用いた看護過程の学習と看護技術を学ぶ。褥婦の全身、生殖器の復古と回復を助ける看護援助、母親・家族の役割適応を支援する看護援助、出生直後から移行期、退院までの新生児のウェルビーイングを助長する看護援助、退院後の生活指導に関する看護援助について学ぶ。
精神看護援助論Ⅱ	2312230	田邊 要補 板山 稔 藤田 勇	1		30	3	演習	【看護師実務経験を持つ教員が教授する科目】 精神に健康問題を持つ人とその家族についての事例を通して、入院から社会生活までの看護を理解するとともに、精神に特徴的な疾患や症状をもつ人に対する具体的な看護援助方法を学習する。さらに地域で暮らす精神に障がいをもつ人の看護についても理解する。
在宅看護援助論Ⅱ	2313040	古澤 弘美 駒形 三和子 飯吉 令枝	1		30	3	演習	【看護師・保健師実務経験を持つ教員が教授する科目】 対象別の在宅看護の実際に基づき、在宅看護に必要な知識・技術について講義・演習を通して学ぶ。在宅看護で必要とされる基本的な生活援助技術について修得する。そして、在宅看護における紙上事例を展開し、在宅療養者とその家族に対する看護につなげる思考過程と必要な援助方法を学習する。
公衆衛生看護学概論	2313060	飯吉 令枝 平澤 則子 小山 歌子		2	30	1	講義	【オムニバス形式で看護師・保健師実務経験を持つ教員が教授する科目】 本人・家族や集団、組織を含む地域を基盤とした看護活動の考え方、公的ヘルスケアサービスの中で機能する看護のあり方を学ぶ。また、予防的介入を基盤とした公衆衛生看護活動を具体的に学び、人々の健康に貢献するために看護がどのように機能することが求められているかを考える。 (飯吉令枝/5回) 導入の講義を行う。 (小山歌子/5回) 公的ヘルスケアサービスに関する講義を行う。 (平澤則子/5回) 具体的な公衆衛生看護活動についての講義を行う。

科目名	科目番号	担当	単位数		時間数	学年配当	授業形態	内容
			必修	選択				
公衆衛生看護活動論Ⅰ	2313070	駒形 三和子 飯吉 令枝 平澤 則子		2	30	2	講義	<p>【オムニバス形式で看護師・保健師実務経験を持つ教員が教授する科目】</p> <p>地域で生活する個人や家族・集団・組織に対して、そのヘルスニーズに応じた公衆衛生看護活動の展開方法を理解し、保健師の役割、機能を学習する。ライフサイクルと健康課題ごとの看護活動方法を理解する。母子、成人、高齢者保健福祉や精神・障害者に対する地域看護活動の展開方法を理解し、看護職の役割・機能を学習する。さらに、難病対策における看護職の役割・機能を学習する。</p> <p>(飯吉令枝/3回) 導入の講義を行う。</p> <p>(駒形三和子/6回) (平澤則子/6回) 対象別の具体的展開方法について講義を行う。</p>
災害看護活動論Ⅰ	2313150	山崎 達枝	1		30	3	演習	<p>【看護師実務経験を持つ教員が教授する科目】</p> <p>災害看護論を基盤に実際に県内で起きた雪害、水害、中越地震、中越沖地震の被災地、および県外の被災地に出向き、被災地の復興の流れや、防災・減災対策などを実際に学ぶ。同時に、フィールドワークを通して、被災者の理解を深め、看護職および地域住民双方の視点から防災、被災に対する自己の考えを深める。事例によるロールプレイングを行い災害で親しい人を失った遺族への言葉かけ、コミュニケーションスキル（傾聴）を学ぶ。</p>
合 計			17	5	465			